#### 第3章 啓発事業、学会発表等

## 3・1 啓発事業

環境研究センターが実施する啓発事業については、総務企画情報課がその調整を行っている。

#### (1)環境学習施設運営事業

環境学習コーナー、図書コーナー、視聴覚コーナー等を備えた学習施設において、環境に関する情報の提供及び啓発を実施しており、平成20年度は1,307名の利用があった。また、団体利用者に対しては、研修施設を活用し、環境問題に関する講座や施設見学を実施し、環境問題に対する一層の理解を図った(表1)。なお、利用者の内訳は、団体を含めた一般利用者が314名、教育関係が351名、事業者が136名、行政関係が204名であった。

## 表1 平成20年度団体利用一覧

期間	団体名	内容	人数
5月	関東天然瓦斯開発㈱茂原鉱業所	講義「地球温暖化について」	25
6月	市原市立東海小学校4年	企画展体験「ワクワクたいけん 水の不思議」	36
6月	市原市立市東第一、第二小学校 4年	企画展体験「ワクワクたいけん 水の不思議」 講義「リサイクルについて」	36
7月	平成 20 年度環境行政職員研修	施設見学(大気測定局、無響室、ダイオキシン分析棟)	50
7月	ボーイスカウト千葉県連盟 千葉地区千葉 18 団カブ隊	施設見学(無響室) 企画展見学「環境まんが家 つやまあきひこの世界」	45
9月	富津市民会館エコ・スクール	施設見学(放射能棟、無響室、ダイオキシン分析棟) 講義「千葉県のごみの現状」	15
10 月	千葉県飼料品質改善研究会	施設見学(無響室、ダイオキシン分析棟) 講義「ダイオキシン県内発生状況等」	20
10 月	大多喜町立老川小学校 5,6年	施設見学(無響室、本館屋上:センターの役割、工業地帯の煙突、 空気について)	23
11 月	中国政府機関省エネルギー研修 団体	施設見学(大気測定局、放射能棟、無響室、ダイオキシン分析棟)	28
11月	千葉県立若松高校1年	講義「地球温暖化について」	11
11 月	旭市立三川小学校5年	施設見学(無響室、本館屋上:センターの役割、工業地帯の煙突、 空気について)	61
11 月	川いい会	施設見学(ダイオキシン分析棟) 講義「千葉県のごみの現状(松戸市)」	22
12月	市原市立京葉小学校6年	職場体験 放射能棟:灰化物(落ち葉)の計量・保管(児童が体験)、 騒音振動:金谷港フェリー接岸時の音採取(ビデオ)	11

#### (2)情報提供業務

啓発冊子の発行

最近の環境問題や環境研究センターの研究内容をわかりやすく紹介する「センターニュース」を3ヶ月毎に年間4回発行した。

児童向け冊子として、クイズ形式で地球温暖化について学べる「エコネコ地球温暖化クイズ'地球温暖化'って何ニャろう」を 9,000 部発行し、市町村、図書館、教育委員会等に配布した。

情報の収集・整備

環境関連の書籍やビデオ、環境白書等の市町村情報等を収集、整理することにより、情報の整備を行った結果、平成20年度末において、書籍は、国・県関係 497 冊、市町村関係 128 冊、一般出版物 904 冊など計1,908冊、ビデオは139タイトル182本(内貸出用81タイトル117本) DV Dは15タイトル、啓発用パネルは22枚を所蔵している。(なお、書籍、ビデオ、DV Dのリストはホームページ参照)

## (3) 啓発業務

## 公開講座

県民の環境問題への理解と、環境保全への取組を喚起するため、環境研究センターの調査研究を中心とした環境に関する講座及び施設見学等による学習機会を提供するため原則月1回の公開講座を開催した。開催状況は表2のとおりである。

## 表2 平成20年度公開講座開催状況

開催月	テーマ	講師等	場所	参加人数(人)	
5月	環境研究センター市原地区施設見学	環境研究センター全室·課の研 究員	(市原地区)	48	
6月	ふれてみよう房総の地質環境	環境研究センター地質環境研 究室職員	当 センター (稲毛地区)	43	
	水質簡易分析学習				
7月	講義「市民が水質調査を行うということ」	環境研究センター水質環境研 究室 小倉久子	当センター	37	
, , ,	水質簡易分析の実習	環境研究センター水質環境研究室 平間幸雄、小林広茂、藤村葉子、小島博義、小倉久子	(稲毛地区)	o,	
7月	バスを利用した都川視察	環境研究センター水質環境研 究室職員	都川流域	28	
8月	夏休み親子リサイクル工作教室	環境研究センター市原地区職 員	当 センター (市原地区)	61	
8月	バスを利用した地質環境学習	環境研究センター地質環境研 究室職員	·養老渓谷 ·関東天然瓦 斯開発㈱ ·大網白里町	38	
9月	つやまあきひこ氏と環境マンガを描こう	環境漫画家 つやまあきひこ	当 センター (市原地区)	35	
	講演:工場排水をきれいにする話				
10月	講演:工場排水をきれいにする話	環境研究センター水質環境研 究室 木内浩一	当 センター (稲毛地区)	31	
	凝集実験	環境研究センター水質環境研究室 木内浩一、藤村葉子			
	講演:「印旛沼をモデルとした特定流域圏における環境改善と再生に関する研究」				
	講演:プロジェクト研究概要及び印旛沼と流入河川の現状	環境研究センター水質環境研 究室 飯村晃			
11月	講演∶窒素は大気からもやってくる	環境研究センター大気環境研   究室 横山新紀	県立美術館	68	
	講演:印旛沼の水質シミュレーションモデル の構築と水質改善対策の検討	環境研究センター水質環境研 究室 平間幸雄	講堂	00	
	講演:印旛沼の生態系再生と市民協働	環境研究センター水質環境研 究室 小倉久子			
	提案:「恵み豊かな印旛沼」の実現に向けて 印旛沼流域水質保全施策策定に向けての提 案	環境研究センター水質環境研 究室 小倉久子			
12月	講演:地球温暖化問題について	環境研究センター総務企画情 報課 岡崎淳	千葉 県 青 少 年女性会館	41	

1月	音の体験型講座:「聴いて、見て、分析してみよう。快い音から騒音まで。」	環境研究センター騒音振動研 究室 杉山寛、石橋雅之、樋口 茂生	千葉市文化 センター	40
2月	講演: 「千葉県廃棄物処理計画」と「化学物質エコ調査」について	資源循環推進課 佐久間健吉 環境研究センター廃棄物・化 学物質研究室 清水明	千葉市文化 センター	48
3月	講演:「地下水盆管理」- 地下水の有効利用と 地盤沈下・地質汚染 -	環境研究センター地質環境研 究室 古野邦雄	県立美術館 講堂	64

#### 企画展

平成19年度末に環境学習施設の1階にあった廃棄物関係の展示施設を撤去して新たに設置した環境 学習コーナーを利用して、平成20年度は企画展2回、ミニ企画展を開催した(表3)。

## 表3 企画展開催状況

期間	タイトル
4月1日~6月30日	環境学習コーナーオープン記念企画展「ワクワクたいけん 水の不思議」
7月7日~9月30日	企画展「環境まんが家 つやまあきひこの世界」
3月19日~5月8日	ミニ企画展「春から初夏の花の写真展」

## 環境月間関連行事

環境月間の関連行事として、研究室の一般公開を次のとおり実施した。参加者数は全体で419名であった。

- ・市原地区において6月9日から13日まで
- ・水質地質部水質環境研究室において6月2日から6日まで
- ・水質地質部地質環境研究室において6月2日から8日まで

## 環境学習に関する情報の提供

「大気汚染による植物観察」、「空気と水の汚れを調べよう」など環境学習に関する情報を環境研究センターホームページにおいて提供している。

## 市町村等啓発活動への支援

県民へのより多くの啓発機会を提供するため、市町村や小中学校等に対し情報の提供やパネル・ビデオの貸出等の事業を実施した。

#### 報告会

地質水質部地質環境研究室では、6月23日に、県庁の多目的ホールにおいて、岩手・宮城内陸地震調査報告会を開催した(参加者数60名)。

# 講師等の派遣状況

表4に講師等の派遣状況を示した。

# 表4 講師等派遣状況

124	MISH'F 13 WE					
No	室名	実施月	講習会名	題名	担当者	会場
1	大気 環境	5	平成 20 年度大気環境測定技術等市町村等職員測定技術講習会	ばい煙測定技術	猪野正和, 横山新紀, 石井克巳, 稲生義彦	当センター
2		5	平成 20 年度大気環境測定技術等市町村等職員測定技術講習会	悪臭	井上智博, 稲生義彦, 中西基晴	当センター
3		5	平成 20 年度大気環境測定技術等市町村等職員測定技術講習会	環境大気常時監視	内藤季和, 稲生義彦, 吉成晴彦	当センター
4		6	大気環境学会関東支部講 演会	環境大気常時監視測定の果 たしてきた役割	吉成晴彦	北とぴあ
5		6	エコマインド養成講座教 員コース	地球温暖化を理解するための 基礎知識	石井克巳	総合教育センター
6		6	千葉市立天戸中学校総合 学習	光と大気汚染 - オゾンにつ いて -	竹内和俊	県庁大気保 全課
7		6	環境(地球温暖化)に関する講演会	熱〈なる地球・・・	井上智博	千葉市稲毛 公民館
8		6	エコリーダー講習会	ごみ問題のこれからを考える	稲生義彦	千倉保健センター
9		7	JICA H20 集団研修「化学産業における環境管理技術」	環境リスク評価事業における 濃度予測モデルの適用 - 千 葉県の事例 -	内藤季和, 渡邉剛久	当センター
10		7,8	公害防止管理者等国家試 験受験者講習会	大気汚染の発生機構等	吉成晴彦	自治会館
11		7,8	公害防止管理者等国家試 験受験者講習会	大気特論測定技術	石井克巳	自治会館
12		7,8	公害防止管理者等国家試 験受験者講習会	大規模大気特論	井上智博	自治会館
13		10	大多喜町立老川小学校施 設等見学	大気環境について	横山新紀	当センター
14		11	中国政府機関省エネルギ ー研修	センター施設見学等	内藤季和, 猪野正和, 渡邉剛久	当センター
15		11	環境大気常時監視技術講 習会	常時監視マニュアルの概要・ 測定データの確定	吉成晴彦	ハーネル仙台
16		11	環境大気常時監視技術講 習会	常時監視マニュアルの概要・ 測定データの確定	吉成晴彦	大田区産業 プラザPIO

17	大気 環境	11	県立若松高等学校	地球温暖化について	石井克巳	当センター
18		11	旭市立三川小学校施設等 見学等	施設等見学等	井上智博	当センター
19		11	成田市立公津の杜小学校 見学会	アグリガイヤ見学等	横山新紀	アグリガイヤ
20		11	化学物質管理セミナー キャラバン 2008 ~ 化学 物質のリスクマネジメントと リスクコミュニケーション~	事業者のための有害大気汚染物質環境リスク評価方法ガイドブック(千葉県版)について	内藤季和	あいおい損 保新宿ビル 新宿ホール
21		12	平成20年度第2回技術交 流会	千葉県から見た環境大気常 時監視技術者認定制度の活 用	吉成晴彦	ニッショーホール
22		12	東北電力企業グループ環 境教育	排煙拡散理論·燃焼理論·燃 焼計算等	井上智博	東北電力 (株)東新潟 火力発電所
23		12	有害大気汚染物質環境リスク評価方法パソコン研修 会	有害大気汚染物質環境リスク 評価方法ガイドブックに係る パソコン研修	内藤季和	Qiball (キボ ール)15 階 会議室
24		12	センター施設等見学	施設等見学等	猪野正和	当センター
25		12	平成 20 年度環境行政連絡協議会大気保全·特殊公害部会	有害大気汚染物質環境リスク 評価について	内藤季和	県庁中庁舎 10 階大会議 室
26		2	大気第一線技術者研修会	有害大気汚染物質環境リスク 評価について	内藤季和	自治会館
27		2	第 24 回全国環境研究所 シンポジウム	固定発生源周辺における大 気中揮発性有機化合物の自 動連続測定	内藤季和	国立環境研 究所大山記 念ホール
28		2	環境モニタリング技術研修	委託管理の実務	吉成晴彦	環境調査研 修所
29	騒音 振動	6	市町村職員測定技術講習 会(初級)	騒音振動測定技術	杉山寛, 石橋雅之, 樋口茂生	当センター
30		6	市町村職員測定技術講習 会(中級)	騒音振動測定技術	杉山寛, 石橋雅之, 樋口茂生	当センター
31		9	公害防止管理者等国家試 験受験講習会	騒音概論	杉山 寛	千葉県自治 会館
32		9	公害防止管理者等国家試 験受験講習会	振動概論	樋口茂生	千葉県自治 会館
33		9	公害防止管理者等国家試 験受験講習会	騒音振動特論	石橋雅之	千葉県自治 会館
34	廃棄物 ・化 学 物質	4	水質汚濁防止法に基づく 立入検査等に係る研修	ダイオキシン類について	吉澤正	当センター (稲毛地区)
35		5	平成 20 年度大気環境測定技術等市町村等職員測定技術講習会	ダイオキシン測定値の取扱い	清水明	当センター (市原地区)

36	廃棄物 · 化 学 物質	6	一般廃棄物処理施設立入 検査等に係る研修	最終処分場の構造と監視体 制	依田彦太郎	センター新館研修室
37		6	一般廃棄物処理施設立入 検査等に係る研修	最終処分場等に係る測定項 目と試料採取について	大石修	センター新 館研修室
38		6	一般廃棄物処理施設立入 検査等に係る研修	廃棄物の安定化について・水 質データのチェック方法	栗原正憲	センター新館研修室
39		6	一般廃棄物処理施設立入 検査等に係る研修	地下水調査の基礎	佐藤賢司	センター新館研修室
40		6	環境についての視察研修	ごみとリサイクル	大石修	センター新 館研修室
41		9	公害防止管理者等国家試 験受験者講習会(ダイオキ シン類)	概論	宇野健一	千葉県自治 会館
42		9	公害防止管理者等国家試 験受験者講習会(ダイオキ シン類)	測定技術	清水明	千葉県自治 会館
43		9	富津市民会館エコスクー ル	千葉県のごみの現状	大石修	センター新館研修室
44		10	千葉県環境衛生促進協議 会研修会	一般廃棄物処理施設の維持 管理について	大石修	教育会館
45		11	第 19 回地質汚染調査浄 化技術研修会	廃棄物処分場の環境ホルモン(内分泌攪乱物質)とその調査法	半野勝正	市原 マリン ホテル
46		11	環境についての視察研修	千葉県のごみの現状	大石修	センター新館研修室
47		12	関東処分組(最終処分場を研究する有志の集まり)	埋設試験の報告	大石修	千葉市生涯 学習センタ
48	水質 環境	4	水質汚濁防止法に基づく 立入検査等に係る研修	平成 19 年度水質汚濁防止法 に係る基準超過の状況	木内浩一	環境研究センター水質 カラー水質 地質部会議 室
49		4	水質汚濁防止法に基づく 立入検査等に係る研修	排水処理の基礎知識について	藤村葉子	環境研究センター水質 地質部会議 室
50		4	水質汚濁防止法に基づく 立入検査等に係る研修	水産食料品製造業における 膜分離活性汚泥法 + 凝集処 理沈殿処理の問題点	木内浩一	環境研究セ ンター水質 地質部会議 室
51		4	水質汚濁防止法に基づく 立入検査等に係る研修	pH 計の使用方法および採水・保存方法とサンプルの固定について	木内浩一	環境研究セ ンター水質 地質部会議 室
52		4	水質汚濁防止法に基づく 立入検査等に係る研修	現場調査と採水方法について	藤村葉子, 木内浩一, 小島博義	環境研究センター水質 カラー水質 地質部会議 室

53	水質 環境	5	千葉市立磯辺第二中学校 環境学習	水と私たちの生活-水環境ってなに?-	藤村葉子	千葉市立磯 辺第二中学 校体育館
54		6	美しい手賀沼を愛する市 民の連合会平成 20 年度 総会 講演会	手賀沼からベトナムへの旅 - 最近の手賀沼 , そしてベトナ ムの水環境を考える -	小倉久子	手賀沼親水 広場研修室
55		6	課題分析研修 (海洋プランクトン)	海の環境モニタリングとプラン クトン	飯村晃	環境省環境 調査研修所
56		6	ボーイスカウト(カブスカウト)簡易水質分析研修	簡易水質分析研修	木村満男, 藤村葉子, 木内浩一	環境研究セ ンター水質 地質部会議 室
57		7	「地球にやさしい暮らし方」 講座	沼や海をきれいにするために 私たちができる生活排水対策	藤村葉子	八千代市睦 公民館
58		7,8	公害防止管理者等国家試 験受験者講習会	水質概論·生物処理法·有害 物質測定技術	藤村葉子	千葉県自治 会館 9 階会 議室
59		7,8	公害防止管理者等国家試 験受験者講習会	測定技術·有害物質処理技術·大規模水質特論	木内浩一	千葉県自治 会館 9 階会 議室
60		8	水シンポジウム in ちば 2008	生活排水対策に関する調査 研究 - 食品,生活用品,浄化 槽 -	藤村葉子	幕 張メッセ 国際会議場
61		9	平成 20 年度スキルアップ 講座	干潟の環境学習	小倉久子	ふなばし三 番瀬海浜公 園
62		10	東邦大学出前講座	手賀沼の水質の長期変遷に ついて	小倉久子	東邦大学理 学部
63		10	ベトナム河川流域担当者 研修	Management on Water Qualities and Wastewater Treatment Facilities in Chiba prefectural government in Japan	木内浩一	環境研究センター新館 会議室
64		10	千葉県·神奈川県飼料品 質改善研究会	東京湾の水質の現状について	小倉久子	環境研究セ ンター新館
65		11	わいわい会議 in いんざい	印旛沼流域での印西市の位 置や市が及ぼす影響につい て説明	小倉久子	印西市文化 ホール
66		11	わいわい会議 in いんざい	生活排水の処理のしかた	藤村葉子	印西市文化 ホール
67		11.12	千葉市立打瀬中学校エキ サイティング講座(総合的 な学習)	水と私たちの生活	藤村葉子	千葉市立打 瀬中学校理 科室
68		12	水辺の環境調査報告会・ 交流会	調査報告に関する講評	飯村晃	ちばコープ 習志野セン ター
69		12	浄化槽法第 11 条検査の BOD 検査に係る採水実務 に関する嘱託採水員更新 講習会	浄化槽の処理水水質と 循環 運転による窒素および BOD の除去について	藤村葉子	千葉県浄化 槽協会
70		2	平成 20 年度環境モニタリング技術研修 講師	委託管理の実務(水質)	飯村晃	環境省環境 調査研修所

71	水質 環境	2	金田地区社会福祉協議会研修会	東京湾の水質・水温について	飯村晃	環境研究セ ンター水質 地質部会議 室
72		2	印旛沼流域環境団体連合 会役員会	プロジェクト研究「印旛沼をモデルとした特定流域圏における環境改善と再生に関する研究」の概要	小倉久子	佐倉市ミレニアムセン ター
73	地環境	4	第8回残土石処分地·廃 棄物最終処分場にかかわ る地質汚染調査浄化技術 の研修会 おもに重金属等を対象 に	汚染残土石層の浄化対策法 とモニタリング法	楠田隆	潮茨域科究日染関ンタホ大圏教ン地査べ習を一次では、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、
74		4	第8回残土石処分地·廃 棄物最終処分場にかかわ る地質汚染調査浄化技術 の研修会 おもに重金属等を対象 に	残土石処分地の現場実習(貫入式ボーリング·水準測量·地下水位測定·簡易水質調査· 露頭調査など)	楠田野原 市野原田井 時期 時間 村 村 村 村 村 村 村 村 村 村 村 村 村 村 村 村 村 村	潮茨域科究日染関ンタホ大圏教ン地査べ習を大学環育の質機・センル・のでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ
75		4	第8回残士石処分地·廃 棄物最終処分場にかかわ る地質汚染調査浄化技術 の研修会 おもに重金属等を対象 に	実習のまとめ 地下水面図の作成	藤崎克博, 楠田隆, 古野邦雄	潮茨域科究日染関ンタホ大圏教ン地査べ習を大学環育の関係した。
76		4	第8回残土石処分地·廃 棄物最終処分場にかかわ る地質汚染調査浄化技術 の研修会 おもに重金属等を対象 に	残土石層の記載法	風岡修	潮茨域科究日染関ンタホ大圏教ン地査べ習を大学では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で
77		4	第8回残土石処分地·廃棄物最終処分場にかかわる地質汚染調査浄化技術の研修会 おもに重金属等を対象に	廃棄物層・残土石層のコア記載法と廃棄物層・汚染残土石層の診断実習	榆井久, 上砂一, 風田剛	潮茨域科究日染関ンタホ大圏教ン地査べ習をでは、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で

	地質		地下水汚染一般行政研修	地下水·地質汚染·地質環境	風岡修	文書館
78	環境	6		(大地の環境)の持続的利用		
79		•	環境週間行事ー地質環境	房総半島の地質環境	室員全員	水質地質部 地質環境研
79		6	研究室の一般公開 			究室棟
80		6	出前講座	大地をみる	酒井豊	千葉市立磯 辺第二中学
		0				校
81		7	平成20年度地質環境対 策技術研修	地質汚染調査概論と地質汚   染調査の考え方 	酒井豊	地質環境研 究室
82		7	平成 20 年度地質環境対 策技術研修	地質学概論	風岡修	地質環境研 究室
83		7	平成 20 年度地質環境対 策技術研修	水文地質学概論(地下水流動 模型による実習:千葉県環境	加藤晶子	地質環境研 究室
			平成 20 年度地質環境対	財団)  地下水流動調査法	古野邦雄	地質環境研
84		7	策技術研修			究室
85		7	平成 20 年度地質環境対 策技術研修	地下水流動調査法	香川淳	地質環境研 究室
86		7	平成 20 年度地質環境対 策技術研修	地質汚染分布調査法(地質汚染流動模型による実習:千葉 県環境財団)	山本真理	地質環境研 究室
87		7	平成 20 年度地質環境対 策技術研修	地質汚染除去対策について	吉田剛	地質環境研 究室
88		7	平成 20 年度地質環境対 策技術研修	埋立層の汚染の事例と 現地調査の説明	楠田隆	地質環境研 究室
89		7	平成 20 年度地質環境対 策技術研修	地質露頭調査実習	地質環境研 究室員全員	養老渓谷
90		7	平成 20 年度地質環境対 策技術研修	重金属による地質汚染現場	地質環境研 究室員全員	千葉市有吉 町
91		7	平成 20 年度地質環境対 策技術研修	調査実習(表層汚染調査, 既存井戸調査,一斉測 水調査,浄化対策等の説 明)	地質環境研 究室員全員	市原市妙香 地先
92		7	平成 20 年度地質環境対 策技術研修	現地調査のまとめ	地質環境研 究室員全員	地質環境研 究室
93		7	平成 20 年度地質環境対 策技術研修	地質環境研究室見学「ふれて みよう房総の地質環境」・測量 実習	地質環境研 究室員全員	地質環境研 究室
94		10	地盤工学会関東支部「関東地域における地盤情報 データベースの運用と活 用検討委員会」ディスカッションセッション	千葉県の地質環境と情報公 開	酒井豊	日本大学理 工学部船橋 キャンパス
95		11	第 19 回地質汚染調査浄 化技術研修会 - 単元調査法とVOCs・油 類・メタン類・環境ホルモ ンの汚染を対象に	VOCs および油類による地質 汚染の機構解明と調査対策	楠田隆	市原マリン ホテル

96	地質環境	11	第 19 回地質汚染調査浄化技術研修会 - 単元調査法とVOCs・油類・メタン類・環境ホルモンの汚染を対象に	検知管による VOCs 表層地下空気汚染調査実習・地下水モニタリング井群の水位測定と採水実習(環境ホルモン汚染廃棄物投棄による地質汚染現場、千葉県市原市妙香:養老川右岸)	楠田隆, 吉田剛, 藤田寛	市 原 マリン ホテル
97		11	第 19 回地質汚染調査浄化技術研修会 - 単元調査法とVOCs・油類・メタン類・環境ホルモンの汚染を対象に	メタン系ガスの地下空気汚染 簡易測定とその汚染対策	酒井豊, 楡井久	市原マリンホテル
98		11	第 19 回地質汚染調査浄化技術研修会 ・単元調査法と VOCs・油類・メタン類・環境ホルモンの汚染を対象に	単元調査法のためのボーリン グコアの記載説明	風岡修,宇澤政晃,小原崇嗣	市原マリンホテル
99		11	第 19 回地質汚染調査浄化技術研修会 - 単元調査法とVOCs・油類・メタン類・環境ホルモンの汚染を対象に	室内の地質汚染調査実習 ボ・リングコア試料による層相 と堆積構造の記載	風岡修, 上砂正一, 宇澤政晃, 小原崇嗣	市原マリン ホテル
100		3	環境行政連絡協議会	地盤沈下と関東地下水盆の 管理	古野邦雄	千葉市生涯 教育センタ
101	総務企 画情報 課	4	平成 20 年度新採職員研修	環境	小川かほる	千葉県職員 能力開発セ ンター
102		5	社員教育(関東天然瓦斯 開発㈱茂原鉱業所)	地球温暖化について	岡崎淳	市原新館研 修室
103		5,6	井野中学校印旛沼学習	水環境教育	小川かほる	佐倉市立井 野中学校他
104		6	香取市環境フォーラム 2008	環境教育と地域活動と協働 - 千葉県環境学習基本方針・ 幕張ベイタウンにエコパークを つくる会・エコメッセ in ちば -	小川かほる	佐原中央公 民館
105		6,8	エコマインド養成講座(教 員コース)	環境教育概論他	小川かほる	総合教育センター
106		6	第 1 回市原市こども環境サミット	コーディネーター	小川かほる	市民会館会議棟3階会議室
107		7	環境教育講演会	環境について	小川かほる	千葉市立打 瀬中学校
108		7	平成 20 年度環境行政職 員研修	環境教育·学習の意義と進め 方	小川かほる	職員能力開発センター
109		8	ISO14001 と化学物質管理	ISO14001 と化学物質管理	岡崎淳	高度ポリテク センター

110	総務企 画情報 課	8	リサイクル工作教室	リサイクル工作教室	岡崎淳	千葉市山王 公民館
111		8	北千葉導水ビジターセン ター夏休み企画展	展示指導	小川かほる	北千葉導水 ビジターセ ンター
112		8	印旛地区教員環境学習研修会 - 印旛沼わくわく学習コーチング -	川の汚れ浄化ゲーム体験	小川かほる	印旛合同庁 舎
113		10,11, 12	エコマインド指導者養成 講座	全体コーディネーター	小川かほる	文化会館他
114		10	生物分科会研究協議会	活動に対する講評	小川かほる	市川市少年 自然の家
115		12	第1回加賀清水座談会	ファシリテーター	小川かほる	佐倉市井野 青年館
116		3	環境パートナーシップちば「地域教材報告会」	基調講演「ちば環境学習"水" ハンドブック~印旛沼・三番瀬 ~」本作りの過程から考えたこと-環境保全活動で環境教育を-	小川かほる	きぼーる
117		3	手賀沼環境ワークショップ	ファシリテーター	小川かほる	かしわ環境 ステーション

## 関連行事への参画

センター以外の各主体において実施される環境問題に関する啓発イベント等に参画した。なお、平成 20 年度の状況は表 5 のとおりである。

## 表5 関連行事への参画状況

	· <b>V D E V W U</b>			
月日	名称	内容	会場(場所)	主催
H20.5.27	千葉県自動車交 通公害対策推進 協議会 第2回エコドライブ	千葉県におけるエコドライブ の推進	千葉県議会棟1階 第一会議室	千葉県自動車交通公 害対策推進協議会
	推進専門部会			
H20.6 他	│手賀沼流域協働 │調査	湧水·水質·水生生物調査など	手賀沼親水広場,大堀 川,他	手賀沼水循環回復行 動推進会議
H20.8.1	夏休みサイエンス スクール	中学生を対象とした体験型の 音環境学習	千葉県環境研究センタ -	千葉県教育庁生涯学 習課
H20.8.5	千葉県自動車交 通公害対策推進 協議会 第3回エコドライブ 推進専門部会	千葉県におけるエコドライブ の推進	千葉県文書館6階 多目的ホール	千葉県自動車交通公 害対策推進協議会
H20.8.6	水草探検隊	市民と協働の植生調査	印旛沼流域	県土整備部河川計画   課
H20.9.7	エコメッセ 2008in ちば	リサイクル工作教室・環境研 究センター紹介	幕張メッセ国際会議場	エコメッセ 2008in ち ば実行委員会
H20.9,10,11,12	善福寺川「水鳥の 棲む水辺」創出事 業	検討懇談会	東京都杉並区役所 他	東京都杉並区
H20.10.17	第 11 回手賀沼流 域フォーラム	パネル展示と水質簡易分析	千葉県手賀沼親水広 場	手賀沼流域フォーラ ム実行委員会
H20.10.17	よみがえれ印旛沼	パネル展示等	佐倉市ふるさと広場	印旛沼環境団体連合 会
H20.11.26	東京湾連絡会	情報交換会	武蔵浦和ラムザタワー (さいたま市南区)	全国環境研協議会関 東甲信静支部東京湾 連絡会

# 3・2 学会発表

平成20年度においてセンター職員が行った学会等の発表は表6のとおりである。

# 表6 学会発表等

室名	月日	課題名	発表者	学会名称等	会場
大気環境	9.17	千葉県の大気中の酸化プロピレ	内藤季和,多田幸恵,	第49回大気環境	金沢大学
	-9.19	ンについて	鎌形香子	学会年会	
	9.17 -9.19	房総丘陵における大気汚染物質   高濃度現象(2)	井上智博,内藤季和,   押尾敏夫 <sup>1</sup>	同上	同上
	-9.19	同辰反呪豕(2)   - 2003~2007 年度の結果から	押 <b>尼</b> 敏大		
		-			
	9.17	千葉県の畜産地域における粒子	横山新紀,村野健太	同上	同上
	-9.19	状物質中のアンモニウムイオン	郎2,野口泉3,北村洋		
			子 <sup>4</sup> ,大泉毅 <sup>5</sup> ,藍川昌 秀 <sup>6</sup> ,寶示戸雅之 <sup>7</sup>		
	9.17	パッシブサンプラーによるアンモ	村野健太郎2,野口泉	同上	同上
	-9.19	ニア濃度測定値の分布	³, 北村洋子⁴, 大泉毅		
			`,横山新紀,藍川昌		
	9.17	   道路沿道の両側における大気中	│ 秀 <sup>6</sup> , 寶示戸雅之 <sup>7</sup> │ 石井克巳	同上	同上
	-9.19	ナノ粒子の粒径分布調査	I TITEL	I리工	191
	3.15	印旛沼への窒素流入負荷にお	横山新紀,小倉久子	第43回日本水環	山口大学
ED 11	-3.17	ける大気由来窒素の影響	1/ 1 🛱	境学会年会	36 10 day 75 15 3
騒音振動	7.11	自動車騒音の経年変化	杉山寛	全国環境研協議 会関東甲信静支	浜松市研修交 流センター
				<b>部騒音振動専門</b>	がセンター
				部会	
	9.24	移動発生源に係る低周波音調	石橋雅之	全国環境研協議	神奈川県自治
		查		会騒音振動担当	会館
				者会議	
廃棄物·	5.15	比抵抗と浸出水のイオン濃度か	河村陽介,杉崎真幸,	物理探査学会	早稲田大学
化学物質		らみた廃棄物層の性状変化	香村一夫,佐藤賢司		
	6.11	生物学的手法を用いた環境モニ	N/ m2 124 - T / 1/2		神戸国際会議
	-6.13	タリング手法の研究()	半野勝正 他	日本環境化学会	場
	6.11	LC/MS による化学物質分析法	清水明,中島純夫8,	第17回環境化学	神戸国際会議
	-6.13	の基礎的研究(34)	│佐々木和明 <sup>9</sup> , 八重樫 │香 <sup>9</sup> ほか	討論会	場
	8.28	ダイオキシン類に浸せきしたヒメ	半野勝正,横田弘文	日本環境毒性学	文部科学省研
		ダカ胚のマイクロアレイによる発	, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	会	究交流センタ
		現変動遺伝子の抽出			一内 国際会
					議場·第二会 議室
	9.23	   メダカ胚を用いたダイオキシン類	   半野勝正	生命科学ネットワ	東京大学安
		生物毒性と遺伝子発現誘導の異		ーク(東大)	田講堂(東京
	10.00	性体間比較	<b>**</b> + `¬₩¬¬	165T田 157 木 24 人	都 文京区)
	10.23	地層の比抵抗を用いた廃棄物埋   立層の安定化メカニズムの把握	香村一夫,河村陽介, 杉崎真幸,大石修,栗	物理探査学会	タワーホ <i>ール</i> 船堀
		立国の文だ10パルーハムの10]注	你呵其平,人口吃,来   原正憲		75日74月
	11.16	Accumulation of Dioxin-isomers	Katsumasa Hanno,	SETAC (Tampa:	タンパインベン
	-11.20	and Their Effect on Expression	Shoji Oda <sup>14</sup> ,	米国)	ションセンター
		of AhRs and CYP1A1 in early developmental stage embryos of	Hiroshi Mitani <sup>14</sup>		
		Medaka (Oryzias latipes)			
	11.19	電気、電磁探査による最終処分	栗原正憲,大石修,佐	廃棄物学会	京都大学
	-11.21	場モニタリングの有効性検討	藤賢司		

廃棄物・	3.16	メダカ卵を用いた不適正最終処	半野勝正,稲生義彦,	日本水環境学会	山口大学吉田
化学物質	-3.18	分場周辺環境のモニタリング ( )-南房総地域 -	依田彦太郎		キャンパス(山 口県山口市)
水質環境	9.18	調整池を活用した市街地・住宅地からの降雨時汚濁負荷の削減	上原浩 <sup>1</sup> ,湯浅岳史 <sup>1</sup> ,東海林太郎 <sup>1</sup> ,二 瓶泰雄 <sup>1</sup> ,宮子雄太 <sup>1</sup> ,佐々木秀馬 <sup>1</sup> ,正木 登 <sup>1</sup> ,増岡洋一 <sup>12</sup> ,高 山信一 <sup>12</sup> ,小倉久子	第11回日本水環 境学会シンポジ ウム	関西大学千里 山キャンパス (大阪府吹田 市)
	10.3	水質シミュレーションモデルによる印旛沼の水質改善対策の検 討	平間幸雄	全環研協議会関 東甲信静支部水 質専門部会	いさご会館(川 崎市)
	11.18	千葉県内河川の硝酸性窒素濃 度実態調査	飯村晃,小林廣茂、小 倉久子,出水澤雄太 <sup>13</sup>	第 35 回環境保 全·公害防止研 究発表会	広島県県境福 祉センター(広 島市南区)
	3.15	畜産排水等農業系汚濁負荷原 単位に関する調査検討	藤村葉子	第 43 回日本水環 境学会年会	山口大学(山口市)
	3.17	食品製造業排水における MBR 後凝集沈殿法と凝集剤直接注入 MBR 法とのリン除去能に関する 比較検討	木内浩一	第 43 回日本水環 境学会年会	山口大学(山口市)
	3.15	三番瀬猫実川河口周辺の底質 環境の評価	小倉久子,中村裕樹 14,鯉渕幸生14,青山 一15	第43回日本水環 境学会年会	山口大学(山口市)
	3.17	雨水調整池改良による市街地面 源負荷削減効果に関する現地 実証試験	東海林太郎 <sup>11</sup> ,湯浅岳 史 <sup>11</sup> ,上原浩 <sup>11</sup> ,二瓶 泰雄 <sup>10</sup> ,坂井純 <sup>10</sup> ,宮 子雄太 <sup>10</sup> ,増岡洋一 <sup>12</sup> ,林薫 <sup>12</sup> ,小倉久子	第43回日本水環境学会年会	山口大学(山口市)
地質環境	6.5	An illustrative example of the geo-pollution and the diagnostic standard for cleanup on the geo-pollution sites-In the case of VOCs such as PCE,TCE,etc	Hisashi Nirei <sup>16</sup> , Tomoyo Hiyakma <sup>17</sup> , Kusuda Takashi, Kunio Furuno	The International Symposium on Geo-pollution Science	Japan Branch of International Union of Geological Science, Geoscience for Environmental Management, Katori, Japan
	6.5	River water contamination of 4TBP caused by LNAPL in disposal site and domestic groundwater monitoring system	Takashi Kusuda, Yutaka Kasahara, Takashi Yoshida, Jyunji Nishikawa <sup>18</sup> , Kazuo Kamura <sup>19</sup> , Yugo Kinjo <sup>20</sup> , Hisashi Nirei <sup>16</sup>		Japan Branch of International Union of Geological Science, Geoscience for Environmental Management, Katori, Japan
	6.5	Simulation of groundwater pollution at geo-pollution site by trichloroethylene, Mobara, Chiba Prefecture, Japan	Kunio Furuno, Fumio Takanaka <sup>21</sup> , Kenzi,Satoh Hisashi Nirei <sup>16</sup> , Osamu Kazaoka, Takashi Kusuda	The International Symposium on Geo-pollution Science	Japan Branch of International Union of Geological Science, Geoscience for Environmental Management, Katori, Japan

地質環境	6.5	Two types of mechanism of geo-pollution and stratigraphical classification of man-made strata	Hisashi Nirei <sup>16</sup> , Maker Brian <sup>22</sup> , Satkunas Jonas <sup>23</sup> , Kunio Furuno	The International Symposium on Geo-pollution Science	Japan Branch of International Union of Geological Science, Geoscience for Environmental Management, Katori, Japan
	6.5	Important role of continuous and precise groundwater monitoring in polluted groundwater pumping tests on geo-pollution sites	Atsushi Kagawa, Kunio Furuno, Hisashi Nirei <sup>16</sup> , Takashi Kusuda	The International Symposium on Geo-pollution Science	Japan Branch of International Union of Geological Science, Geoscience for Environmental Management, Katori, Japan
	6.5	Natural attenuation, groundwater flow and groundwater quality of shallow aquifer on VOCs Geo-pollution site in Urabe district, northern part of shimousa upland, northern Boso Peninsula, central Japan	Osamu Kazaoka, Mitihiro Murakoshi <sup>24</sup> , Takashi Kusuda, Hisashi Nirei <sup>16</sup> , Takeshi Tanaka <sup>25</sup> , Katsuhiro Aoki <sup>26</sup> , Akiko Yamaki <sup>18</sup> , Mio Takeuchi	The International Symposium on Geo-pollution Science	Japan Branch of International Union of Geological Science, Geoscience for Environmental Management, Katori, Japan
	6.5	Distribution of arsenic concentrations in Holocene deposits of Tokyo lowland, Japan	Takeshi Yoshida, Hisashi Nirei <sup>16</sup>	The International Symposium on Geo-pollution Science	Japan Branch of International Union of Geological Science, Geoscience for Environmental Management, Katori, Japan
	8.13	Simulation of groundwater pollution at geo-pollution site by trichloroethylene, Mobara, Chiba Prefecture, Japan	Kunio Furuno, Fumio Takanaka <sup>21</sup> , Kenzi Satoh, Hisashi Nirei <sup>16</sup> , Osamu Kazaoka and Takashi KUSUDA	The 33rd IGC International Geological Congress,	Oslo Lillestrm, Norway
	8.13	Natural attenuation, groundwater flow and groundwater quality of shallow aquifer on VOCs Geo-pollution site in Urabe district, northern part of shimousa upland, northern Boso Peninsula, central Japan	Osamu Kazaoka, Mitihiro Murakoshi <sup>24</sup> , Takashi Kusuda, Hisashi Nirei <sup>16,</sup> Takeshi Tanaka, Katsuhiro Aoki <sup>26</sup> , Akiko Yamaki <sup>18</sup> and Mio Takeuchi <sup>27</sup>	The 33rd IGC International Geological Congress,	Oslo Lillestrm, Norway
	8.7	Management of the environmental resources of the Kanto Groundwater Basin in Japan -Groundwater level, land subsidence and monitoring system-	Kunio Furuno, Takashi Kusuda, Hisashi Nirei <sup>16</sup> , Atsushi Kagawa and Osamu Kazaoka	The 33rd IGC International Geological Congress,	Oslo Lillestrm, Norway

地質環境	8.11	Liquefaction-Fluidization damage on lower part of landward slope in coastal sand dune : Geo-environmental survey in northern Cyuetsu area on the 2007 off chuetsu earthquake	Osamu Kazaoka, Takayuki Kawabe <sup>28</sup> , Kunio Furuno, Yutaka Kasahara <sup>18</sup> and Takeshi Yoshida	The 33rd IGC International Geological Congress,	Oslo Lillestrm, Norway
	8.7	Lateral change of Liquefaction-Fluidization resistance in artificial strata by hydraulic fill at iron sand mining site in southern Kujyukuri Plain, Boso Peninsula, central Japan - Geo-Environmental Survey for Liquefaction-Fluidization damage at the 1987	Osamu Kazaoka, Mitsuo Sato <sup>29</sup> , Takashi Kusuda, Yutaka Kasahara <sup>18</sup> , Kunio Furuno, Kazuo Kamura <sup>19</sup> , Yu Hara <sup>30</sup> , Kenzi Satoh and Hisashi Nirei <sup>16</sup>	The 33rd IGC International Geological Congress,	Oslo Lillestrm, Norway
	8.13	An illustrative example of the geo-pollution and the diagnostic standard for cleanup on the geo-pollution sites - In the case of VOCs such as PCE, TCE, etc-	Hisashi Nirei <sup>16</sup> , Tomoyo Hiyakma <sup>17</sup> , Kusuda Takashi and Kunio Furuno	The 33rd IGC International Geological Congress,	Oslo Lillestrm, Norway
	8.7	Groundwater Basin Monitoring System in Chiba Prefecture, Japan	Atsushi Kagawa, Kunio Furuno, Hisashi Nirei <sup>16</sup> and Takashi Kusuda	The 33rd IGC International Geological Congress,	Oslo Lillestrm, Norway
	8.13	Important role of continuous and precise groundwater monitoring in polluted groundwater pumping tests on geo-pollution sites	Atsushi Kagawa, Kunio Furuno, Hisashi Nirei <sup>16</sup> and Takashi Kusuda	The 33rd IGC International Geological Congress,	Oslo Lillestrm, Norway
	8.13	River water contanination of 4TBP caused by LNAPL in disposal site and domestic groundwater monitaring system	Takashi Kusuda, Yutaka Kasahara <sup>18</sup> , Takeshi Yoshida, Jyunji Nishikawa <sup>18</sup> , Kazuo Kamura <sup>19</sup> , Yugo Kinjo <sup>20</sup> and Hisashi Nirei	The 33rd IGC International Geological Congress,	Oslo Lillestrm, Norway
	8.13	Distribution of arsenic concentrations in Holocene deposit of Tokyo lowland, Japan	Takeshi Yoshida and Hisashi Nirei <sup>16</sup>	The 33rd IGC International Geological Congress,	Oslo Lillestrm, Norway
	8.13	Two types of mechanism of geo-polltuion and stratigarphical classification of man-made strata	Hisashi Nirei <sup>16</sup> , Brian Maker <sup>22</sup> , Jonas Satkunas <sup>23</sup> and Kunio Furno	The 33rd IGC International Geological Congress,	Oslo Lillestrm, Norway
	9.8	An illustrative example of the geo-pollution and the diagnostic standard for cleanup on the geo-pollution sites - In the case of VOCs such as PCE, TCE, etc.	Nirei Hisashi <sup>16</sup> , Hiyakma Tomoyo <sup>17</sup> , Takashi Kusuda, Furuno Kunio	The Road from Oslo, Norway — How to reach a settlement on Geo-stratigraphic Unit Investigation Method not only in Japan but also all over the world —	菜の花会館

地質環境	9.8	River water contamination of 4TBP caused by LNAPL in disposal site and domestic groundwater monitoring system 残土処分地(disposal site)におけ る LNAPL に起因する4TBP の河 川水汚染と地域地下水のモニタ リングシステム	Takashi Kusuda, Yutaka Kasahara <sup>18</sup> , Takeshi Yoshida , Jyunji Nishikawa <sup>18</sup> , Kazuo Kamura <sup>19</sup> , Yugo Kinjo <sup>20</sup> , Hisashi Nirei <sup>16</sup>	The Road from Oslo, Norway – How to reach a settlement on Geo-stratigraphic Unit Investigation Method not only in Japan but also all over the world –	菜の花会館
	9.8	Simulation of groundwater pollution at geo-pollution site by trichloroethylene, Mobara, Chiba Prefecture, Japan 千葉県茂原市におけるトリクロロエチレンによる地下水汚染のシミュレーション	Kunio Furuno, Fumio Takanaka <sup>21</sup> , Kenzi Satoh, Hisashi Nirei <sup>16</sup> , Osamu Kazaoka, Takashi Kusuda	The Road from Oslo, Norway – How to reach a settlement on Geo-stratigraphic Unit Investigation Method not only in Japan but also all over the world –	菜の花会館
	9.8	Two types of mechanism of geo-pollution and stratigraphical classification of man-made strata	Hisashi Nirei <sup>16</sup> , Maker Brian <sup>22</sup> , Satkunas Jonas <sup>23</sup> , Kunio Furuno	The Road from Oslo, Norway – How to reach a settlement on Geo-stratigraphic Unit Investigation Method not only in Japan but also all over the world –	菜の花会館
	9.8	Important role of continuous and precise groundwater monitoring in polluted groundwater pumping tests on geo-pollution sites 地質汚染現場における揚汚水試験の連続・高精度のモニタリングの重要性	Atsushi Kagawa, Kunio Furuno, Hisashi Nirei <sup>16</sup> , Takashi Kusuda	The Road from Oslo, Norway – How to reach a settlement on Geo-stratigraphic Unit Investigation Method not only in Japan but also all over the world –	菜の花会館
	9.8	Natural attenuation, groundwater flow and groundwater quality of shallow aquifer on VOCs Geo-pollution site in Urabe district, northern part of shimousa upland, northern Boso Peninsula, central Japan 下総台地北部・印西市浦部地区における VOC 地質汚染の浅層帯水層における汚染物質の自然減衰・地下水流動・地質汚染	Osamu Kazaoka, Mitihiro Murakoshi <sup>24</sup> , Takashi Kusuda, Hisashi Nirei <sup>16</sup> , Takeshi Tanaka <sup>25</sup> , Katsuhiro Aoki <sup>26</sup> , Akiko Yamaki <sup>18</sup> , Mio Takeuchi <sup>27</sup>	The Road from Oslo, Norway — How to reach a settlement on Geo-stratigraphic Unit Investigation Method not only in Japan but also all over the world —	菜の花会館

地質環境	9.8	Distribution of arsenic concentrations in Holocene deposits of Tokyo lowland, Japan 東京低地の完新統のヒ素の濃度分布	Takeshi Yoshida, Hisashi Nirei <sup>16</sup>	The Road from Oslo, Norway — How to reach a settlement on Geo-stratigraphic Unit Investigation Method not only in Japan but also all over the world —	菜の花会館
	9.21	2008 年5月千葉県で観測された 長周期地震動	加藤晶子,酒井豊,楠田隆	日本地質学会第 115 年学術大会	秋田大学
	9.21	房総半島で観測されたやや短周 期地震動に関する検討	酒井豊,楠田隆,加藤 晶子,山本真理	日本地質学会第 115 年学術大会	秋田大学
	9.21	地下水位・地盤沈下観測井に現 れた遠地地震の影響	香川淳,古野邦雄,楠田隆,酒井豊	日本地質学会第 115 年学術大会	秋田大学
	9.21	1987 年千葉県東方沖地震時の 旧河道埋立層中に見られる液状 化 - 流動化現象 - 香取市石納 での高密度貫入試験とトレンチ 調査から -	風岡修,佐藤光男 <sup>29</sup> , 古野邦雄,原雄 <sup>30</sup> ,香 村一夫 <sup>19</sup> ,笠原豊 <sup>18</sup> , 楠田隆,楡井久 <sup>16</sup> ,酒 井豊,佐藤賢司,吉田 剛	日本地質学会第 115 年学術大会	秋田大学
	9.21	千葉県観測井における孔内地下 水の深度方向の温度分布	古野邦雄,香川淳,酒 井豊,風岡修,吉田 剛,楠田隆,風戸孝之	日本地質学会第 115 年学術大会	秋田大学
	9.21	最も脆弱な帯水層の地下水流動 特性	高嶋洋 <sup>32</sup> ,佐藤賢司, 楠田隆,古野邦雄,楡 井久 <sup>16</sup>	日本地質学会第 115 年学術大会	秋田大学
	9.21	養老川中流域周辺の地下水位 変動の特徴	楠田隆,笠原豊 <sup>18</sup> ,西川順二 <sup>18</sup> ,吉田剛,篠原誠一 <sup>33</sup> ,古野邦雄,香川淳,金城有吾 <sup>20</sup> ,田村嘉之 <sup>34</sup> ,風岡明郡,加藤晶子,山本真理,酒井豊	日本地質学会第115年学術大会	秋田大学
	9.21	人工地層の層序(層位)	楡井久,メーカーブラ イアン <sup>22</sup> ,シクナスヨナ ス <sup>23</sup> ,古野邦雄		秋田大学
	11.15	地下水利用と関東地下水盆の環境管理 - 地方分権下における地方公共団体の役割 -	古野邦雄	第16回地質汚染 調査浄化シンポ ジウム 「大阪の地盤沈 下と地質汚水禁止 地下水揚史と地り 汚染とのかかわり	片山化学,大阪
	11.29	廃棄物埋立地層中の地下水位 変動	楠田隆,笠原豊 <sup>18</sup> ,西川順二 <sup>18</sup> ,濱口聯 <sup>18</sup> ,吉田剛,宮崎隆 <sup>33</sup> ,古野邦雄,香川淳,金城有吾 <sup>20</sup> ,田村嘉之 <sup>34</sup> ,石井泰裕 <sup>34</sup> ,風岡修,加藤晶子,山本真理,酒井豊		名古屋大学

111.557四1女	44.00	て共同におけて見てるルエルム		<u>مح ده التحالية ا</u>	27014
地質環境	11.29	千葉県における最近の地下水位 変動の特徴	香川淳,古野邦雄,楠 田隆,酒井豊	第 18 回環境地質 学シンポジウム	名古屋大学
	11. 29	関東地下水盆の自治体による地盤沈下と地下水位の監視	古野邦雄,香川淳,風岡修,山本真理,酒井豊,楠田隆,笠原豊 <sup>18</sup> ,楡井久	第18回環境地質学シンポジウム	名古屋大学
	11. 29	北総台地における常総粘土層上 面深度分布 富里地域における予察的研 究	加藤晶子,風岡修,楠田隆,酒井豊	第 18 回環境地質 学シンポジウム	名古屋大学
	11. 29	工業団地におけるトリクロロエチレン地下水汚染事例	宇佐美潤 <sup>17</sup> ,高畠英世 17,風岡修,楠田隆, 酒井豊,山本真理,吉 田剛,佐藤賢司,楡井 久 <sup>16</sup>	第18回環境地質学シンポジウム	名古屋大学
	11. 29	1.1.1.トリクロロエタンによる地下水汚染機構と汚染分布特性	高嶋洋 <sup>32</sup> ,古野邦雄, 楠田隆	第 18 回環境地質 学シンポジウム	名古屋大学
	11. 29	同一帯水層内の地層汚染濃度 変化と地層構成 ボーリング調査時のコンタミ防 止技術に基づく	高畠英世 <sup>17</sup> , 檜山知代 <sup>17</sup> , 池田秀史 <sup>17</sup> , 宇佐 美潤 <sup>17</sup> , 風岡修, 楠田 隆, 加藤晶子	第 18 回環境地質 学シンポジウム	名古屋大学
	11. 29	印西市浦部地区の透水層別地 下水のイオン濃度(その2)	酒井豊,風岡修,加藤晶子,楠田隆,八槇明子 <sup>28</sup> ,飯高次夫 <sup>24</sup> ,糸賀健一 <sup>24</sup> ,村越道弘 <sup>24</sup> ,青木勝宏 <sup>26</sup> ,吉田剛,山本真理	第 18 回環境地質学シンポジウム	名古屋大学
	11. 29	下総台地北部における透水層単元と地下水質 孔内地下水質検層からみえて くるもの	風岡修,酒井豊,村越 道弘 <sup>24</sup> ,飯高次夫 <sup>24</sup> , 新賀健一 <sup>24</sup> ,楠田隆, 笠原豊,榆井久 <sup>16</sup> ,田 中武 <sup>25</sup> ,篠田口彦 <sup>24</sup> , 細合有 <sup>24</sup> ,田口善彦 <sup>2</sup> <sup>4</sup> ,青木勝宏 <sup>26</sup> ,大洞輝 雄 <sup>26</sup> ,八槇明子 <sup>18</sup>	第18回環境地質学シンポジウム	名古屋大学
	11. 29	千葉県で起きた潮溜まりの白濁 現象の機構解明 その1 地下水流動について	吉田剛,風岡修,古野邦雄,楠田隆,酒井豊,香川淳,加藤晶子,山本真理	第18回環境地質学シンポジウム	名古屋大学
	11. 29	完新世の谷埋河川堆積物層に よる地震地質災害 2008年岩手県沿岸北部地震・ 2008年岩手・宮城内陸地震の現 地調査から	風岡修,川辺孝幸,楠 田隆,古野邦雄,酒井 豊,香川淳,吉田剛	第 18 回環境地質 学シンポジウム	名古屋大学
	11. 29	栗原市本宿地区の液状化調査 2008 年岩手・宮城内陸地震の際の地質環境被害調査	楠田隆,風岡修,吉田剛,古野邦雄,香川淳,酒井豊,川辺孝幸28	学シンポジウム	名古屋大学
	11. 29	2008 年岩手・宮城内陸地震による荒砥沢ダム上流域の大規模地 すべりの地質学的検討	川辺孝幸 <sup>28</sup> ,風岡修, 香川淳,楠田隆,酒井 豊,古野邦雄,吉田剛	第 18 回環境地質 学シンポジウム	名古屋大学
	11. 29	研究室公開における地質環境教育について アンケート調査結果から	山本真理,吉田剛,古野邦雄,風岡修,楠田隆,香川淳,加藤晶子,酒井豊	第 18 回環境地質 学シンポジウム	名古屋大学
	11. 29	千葉県地盤沈下・地下水位観測 井における孔内地下水の深度方 向温度分布	古野邦雄,香川淳,吉 田剛,風岡修,楠田 隆,山本真理,酒井豊	第 18 回環境地質 学シンポジウム	名古屋大学

総務企画	9.17	千葉県における大気汚染物質濃	岡崎淳	第49回大気環境	金沢大学
情報課	-9.19	度と気象要素との関係の変化に		学会年会	
		ついて(2)			
	3.16	印旛沼水環境健全化をめざした	小川かほる,湯浅誠,	日本水環境学会	山口大学
	-3.18	「みためし行動学び系」の環境教	青柳伸二,堀田和弘		
		育の実践 - 佐倉市立井野中			
		学校の総合的な学習 -			

- 1:さくら生態研究所 2:法政大学 3:北海道環境科学研究センター 4:宮城県保健環境センター
- 5: 新潟県保健環境科学研究所 6: 兵庫県立健康環境科学研究センター 7: 畜産草地研究所
- 8:札幌市衛生研究所 9:岩手県環境保健研究センター 10:東京理科大学 11:(株)パシフィックコンサツタンツ
- 12:千葉県県土整備部 13:日本大学生産工学部 14:東京大学大学院新領域創成科学研究科
- 15:三番瀬市民調査の会 16:NPO 法人日本地質汚染審査機構 17:(株)テクノアース 18:千葉県環境生活部
- 19:早稲田大学理工学研究院 20:沖縄県名護市役所 21:茂原市役所 22:英国地質調査所
- 23:リトアニア国地質調査所 24:印西市役所 25:田中環境開発株式会社 26:応用地質株式会社
- 27: 産業技術総合研究所 28: 山形大学 29: 伸光エンジニアリング株式会
- 30: 元地質環境研究室(現エコシステム千葉株式会社) 31: 元地質環境研究室 32: 野田市役所
- 33:市原市役所 34:(財)千葉県環境財団

# 3・3 論文等の発表

平成20年度においてセンター職員が執筆した論文等は表7のとおりである。

## 表7 論文等の執筆

<b>表 / 編又</b> 研究室	、 寺の 発行月	課題名	発表者	掲載誌
大気環境	12	千葉県における放射能調査	猪野正和,井上智博,内藤季和,押尾敏夫,中西基晴	第 50 回環境放射能調查結果論文抄録
	3	千葉県の大気中の酸化プロピレンについ   て	内藤季和,多田幸惠 <sup>1</sup> 鎌形香子 <sup>2</sup>	千葉県環境研究セン ター年報第7号
	3	リモートセンシングによる自動車排気ガス 実態調査( ) - 千葉県内の主要幹線道路における調 査結果 -	竹内和俊	千葉県環境研究センター年報第7号
騒音振動	投稿中	道路交通振動に対する現行 L10 評価の問題 一国道 16 号における 24 時間測定結果から一	樋口茂生,石橋雅之	全国環境研会誌
	投稿中	道路交通振動実態調査における測定法 (暫定)提案 一現行法下でのデータ収集策: 千葉県環 境研試案ー	樋口茂生,石橋雅之,杉   山寛 	同上
	投稿中	音と地球を考える 一無響室を使った小学生向け体験授業ー	樋口茂生,石橋雅之,杉   山寛	同上
	投稿中	大型車通過頻度にみられるポアソン分布 と振動評価	樋口茂生,石橋雅之,松 島貢,西田寛子	同上
水質環境	3	水質シミュレーションモデルによる印旛沼 の水質改善対策の検討	平間幸雄	千葉県環境研究セン ター年報第7号
地質環境	6	An illustrative example of the geo-pollution and the diagnostic standard for cleanup on the geo-pollution sites-In the cases of VOCs such as PCE,TCE <etc< td=""><td>Hisashi Nirei³, Hiyakma Tomoyo⁴, Takashi Kusuda, Kunio Furuno</td><td>The Proceedings of International Symposium on Geo-pollution Science (Japan Branch of IUGS-GEM)</td></etc<>	Hisashi Nirei³, Hiyakma Tomoyo⁴, Takashi Kusuda, Kunio Furuno	The Proceedings of International Symposium on Geo-pollution Science (Japan Branch of IUGS-GEM)
	6	River water contamination ob 4TBP caused by LNAPL in disposal site and domestic groundwater monitoring system	Takashi Kusuda, Yutaka Kasahara <sup>5</sup> , Takeshi Yoshida, Jyunji Nishikawa <sup>5</sup> , Kazuo Kamura <sup>6</sup> , Yugo Kinjo <sup>7</sup> , Hisashi Nirei <sup>3</sup>	The Proceedings of International Symposium on Geo-pollution Science (Japan Branch of IUGS-GEM)
	6	Simulation of groundwater pollution at geo-pollution site by trichloroethylene,Mobara,Chiba Prefecture,Japan	Kunio Furuno, Fumio Takanaka <sup>8</sup> , Kenzi Satoh, Hisashi Nirei <sup>3</sup> , Osamu Kazaoka, Takashi Kusuda	The Proceedings of International Symposium on Geo-pollution Science (Japan Branch of IUGS-GEM)
	6	Two types of mechanism of geo-pollution and atratigraphical classification of man-made atrata	Hisashi Nirei <sup>3</sup> , Maker Brian <sup>9</sup> , Jonas Satkunas <sup>10</sup> , Kunio Furuno	The Proceedings of International Symposium on Geo-pollution Science (Japan Branch of IUGS-GEM)

地質環境	6	Important role of continuous and precise groundwater monitoring in polluted groundwater pomping tests on geo-pollution sites	Atsushi Kagawa, Kunio Furuno, Hisashi Nirei <sup>3</sup> , Takashi Kusuda	The Proceedings of International Symposium on Geo-pollution Science (Japan Branch of IUGS-GEM)
	6	Natural attenuation ,groundwater flow and groundwater quality of shallow aquifer on VOCs Geo-pollution site in Urabe district,northern part of shimousa upland,northern Boso Peninsula,central Japan	Osamu Kazaoka, Mitihiro Murakoshi <sup>11</sup> , Takashi Kusuda, Hisashi Nirei <sup>3</sup> , Takeshi Tanaka <sup>12</sup> , Katsuhiro Aoki <sup>13</sup> , Akiko Yamaki <sup>5</sup> , Mio Takeuchi <sup>14</sup>	The Proceedings of International Symposium on Geo-pollution Science (Japan Branch of IUGS-GEM)
	6	Distribution of arsenic concentrations in Holocene deposits of Tokyo lowland, Japan	Takeshi Yoshida, Hisashi Nirei <sup>3</sup>	The Proceedings of International Symposium on Geo-pollution Science (Japan Branch of IUGS-GEM)
	11	廃棄物埋立地層中の地下水位変動	楠田隆,笠原豊 <sup>5</sup> ,西川順二 <sup>5</sup> ,濱口聡 <sup>5</sup> ,吉田剛,宮崎隆 <sup>15</sup> ,古野邦雄,香川淳,金城有吾 <sup>7</sup> ,田村嘉之 <sup>16</sup> ,石井泰裕 <sup>16</sup> ,風岡修,加藤晶子,山本真理,酒井豊	第 18 回環境地質学シンポジウム論文集
	11	千葉県における最近の地下水位変動の特 徴	香川淳,古野邦雄,楠田隆,酒井豊	第 18 回環境地質学シンポジウム論文集
	11	関東地下水盆の自治体による地盤沈下と 地下水位の監視	古野邦雄,香川淳,風岡修,山本真理,酒井豊,楠田隆,笠原豊,楡井久	第 18 回環境地質学シンポジウム論文集
-	11	北総台地における常総粘土層上面深度 分布 富里地域における予察的研究	加藤晶子,風岡修,楠田隆,酒井豊	第 18 回環境地質学シンポジウム論文集
	11	工業団地におけるトリクロロエチレン地下水汚 染事例	宇佐美潤 <sup>4</sup> ,高畠英世 <sup>4</sup> , 風岡修,楠田隆,酒井 豊,山本真理,吉田剛, 佐藤賢司,楡井久 <sup>3</sup>	第 18 回環境地質学シンポジウム論文集
	11	1.1.1.トリクロロエタンによる地下水汚染機構と汚染分布特性	高嶋洋 <sup>17</sup> ,古野邦雄,楠田 隆	第 18 回環境地質学シンポジウム論文集
	11	同一帯水層内の地層汚染濃度変化と地層構成 ボーリング調査時のコンタミ防止技術に基づく	高畠英世 <sup>4</sup> ,檜山知代 <sup>4</sup> , 池田秀史 <sup>4</sup> ,宇佐美潤 <sup>4</sup> , 風岡修,楠田隆,加藤晶 子	第 18 回環境地質学シンポジウム論文集
	11	印西市浦部地区の透水層別地下水のイオン濃度(その2)	酒井豊,風岡修,加藤晶子,楠田隆,八槇明子 <sup>5</sup> , 飯高次夫 <sup>11</sup> ,糸賀健一 <sup>11</sup> ,村越道弘 <sup>11</sup> ,青木勝宏 <sup>13</sup> ,吉田剛,山本真理	第 18 回環境地質学シンポジウム論文集
	11	下総台地北部における透水層単元と地下 水質 孔内地下水質検層からみえて〈るもの	風岡修,酒井豊,村越道弘 <sup>11</sup> ,飯高次夫 <sup>11</sup> ,糸賀健一 <sup>11</sup> ,楠田隆,笠原豊 <sup>5</sup> ,榆井久 <sup>3</sup> ,田中武 <sup>12</sup> ,篠田正彦 <sup>11</sup> ,細谷有 <sup>11</sup> ,田口善彦 <sup>11</sup> ,青木勝宏 <sup>13</sup> ,大洞輝雄 <sup>13</sup> ,八槇明子 <sup>5</sup>	第 18 回環境地質学シンポジウム論文集

地質環境	11	千葉県で起きた潮溜まりの白濁現象の機 構解明 その1 地下水流動について	吉田剛,風岡修,古野邦雄,楠田隆,酒井豊,香川淳,加藤晶子,山本真理	第 18 回環境地質学シンポジウム論文集
	11	完新世の谷埋河川堆積物層による地震地 質災害 2008 年岩手県沿岸北部地震・2008 年 岩手・宮城内陸地震の現地調査から	風岡修,川辺孝幸 <sup>18</sup> ,楠 田隆,古野邦雄,酒井 豊,香川淳,吉田剛	第 18 回環境地質学シンポジウム論文集
	11	栗原市本宿地区の液状化調査 2008 年岩手・宮城内陸地震の際の地質 環境被害調査	楠田隆,風岡修,吉田剛,古野邦雄,香川淳, 酒井豊,川辺孝幸 <sup>18</sup>	第 18 回環境地質学シンポジウム論文集
	11	2008 年岩手·宮城内陸地震による荒砥沢 ダム上流域の大規模地すべりの地質学的 検討	川辺孝幸 <sup>18</sup> ,風岡修,香 川淳,楠田隆,酒井豊, 古野邦雄,吉田剛	第 18 回環境地質学シンポジウム論文集
	11	研究室公開における地質環境教育について アンケート調査結果から	山本真理,吉田剛,古野邦雄,風岡修,楠田隆, 香川淳,加藤晶子,酒井豊	第 18 回環境地質学シンポジウム論文集
	11	千葉県地盤沈下·地下水位観測井におけ る孔内地下水の深度方向温度分布	古野邦雄,香川淳,吉田剛,風岡修,楠田隆,山本真理,酒井豊	第 18 回環境地質学シンポジウム論文集
	2	2007 年能登半島地震の際にみられた地質災害	風岡修,楠田隆,古野邦 雄,笠原豊,川辺孝幸 <sup>18</sup>	地質汚染-医療地質- 社会地質学会誌
総務企画 情報課	11	楽し〈学べる「川の汚れ浄化ゲーム」の開発とその学習効果の検証	石井誠治 <sup>19</sup> , 今田陽子 <sup>19</sup> , 小川かほる, 金井純 治 <sup>20</sup>	用水と廃水 50(11)
	3	千葉県における大気汚染物質濃度の推 移について	岡崎淳	千葉県環境研究セン ター年報第7号
	3	環境教育と市民参加 - 「エコメッセ in ちば」開催と「千葉県環境学習基本方針」策定と過から考える -	小川かほる	千葉県環境研究センター年報第7号

1: 千葉県環境生活部大気保全課 2: 千葉県総合企画部国際室 3: NPO 法人日本地質汚染審査機構

<sup>4:</sup>テクノアース株式会社 5:千葉県環境生活部 6:早稲田大学理工学研究院 7:沖縄県名護市役所

<sup>8:</sup> 茂原市役所 9: 英国地質調査所 10:リトアニア国地質調査所 11:印西市役所 12:田中環境開発株式会社

<sup>13:</sup> 応用地質株式会社 14: 産業技術総合研究所 15: 市原市役所 16:(財) 千葉県環境財団 17: 野田市役所

<sup>18:</sup>山形大学 19:(株)共立理化学研究所 20:環境コミュニケーションズ

3・4 報告書等の執筆、発行 平成20年度における報告書等の執筆、発行は表8のとおりである。

# 表8 報告書等の執筆、発行

TAPE			
発行月	報告書名	参画者	参画形態
4	地下水揚水量調査報告書	関東地方環境対策推進本部地 盤沈下部会	共同研究
7	環境研究センタープロジェクト研究 印旛沼をモデルとした特定流域圏における 環境改善と再生に関する研究	印旛沼プロジェクトメンバー	
2	平成 20 年度低周波音測定調查委託業務報 告書(環境省委託)	大気保全課	共同
3	平成19年度浮遊粒子状物質合同調査報告 書	関東地方環境対策推進本部大 気環境部会浮遊粒子状物質調 査会議	共同研究
3	平成20年度環境省委託業務結果報告書 有害大気汚染物質発生源対策調査 ジクロ ロメタン	千葉県	委託調査
3	平成 20 年度化学物質環境実態調査 - 化学物質と環境 - (水質)	清水明,吉澤正,宇野健一, 堀本泰秀,内藤秀和,中西基晴	委託調査
3	平成 20 年度廃棄物処理等科学研究費補助 金 「最終処分場におけるアスベスト廃棄物の安 全性評価手法の開発」	大石修	共同研究者
3	関東地下水盆の地下水位図(2004 - 200 6)	関東地方環境対策推進本部地 盤沈下部会	共同研究

# 3・5 インターンシップ等による研修生の受け入れ

平成20年度におけるインターンシップ等による研修生の受け入れは表9のとおりである。

# 表9 研修生等の受入

国内

月日	研修者数	研修者所属	研修内容	研修受入担当
7.26 ~ 9.7	1名	千葉工業大学 社会システム科学部	環境学習プログラムの評価及び 改善	総務企画情報課
7.31 ~ 8.18	1名	日本大学生産工学部	東京湾におけるプランクトの画像 解析	水質環境研究室
7.31 ~ 8.15	1名	日本大学生産工学部	東京湾調査結果の整理・解析	水質環境研究室
7.31 ~ 8.18	1名	東京大学大学院	三番瀬底質分析と解析	水質環境研究室
7.31 ~ 8.18	1名	日本大学生産工学部		
7.31 ~ 8.18	1名	日本大学生産工学部	印旛沼·手賀沼に関する情報の 整理	水質環境研究室
8.1 ~ 8.18	1名	千葉大学工学部·院	プランクトンの画像解析技術	水質環境研究室
8.4 ~ 8.15	1名	千葉工業大学工学部	環境放射能に関する業務等	大気環境研究室
8.4 ~ 8.19	2名	日本大学生産工学部	カー用品の分析、洗車排水調査	水質環境研究室
8.4 ~ 8.19	2名	日本大学生産工学部	活性汚泥処理における凝集剤添加によるリン除去効果について	水質環境研究室
8.18 ~ 8.29	1名	横浜国立大学工学部	コンクリート材量に吸着するリンの 吸着量と時間経過の関係	水質環境研究室
8.18 ~ 8.29	1名	千葉大学園芸学部	カー用品の分析、洗車排水調査	水質環境研究室
8.18 ~ 8.29	1名	日本大学理工学部	大気中の浮遊粉じん及び浮遊粒 子状物質の測定と成分分析	大気環境研究室

国外

月日	研修者数	研修者所属	研修内容	研修受入担当
7.2	1名	インド・西ベンガル州政	化学産業における環境管理技術	大気環境研究室
		府		
	1名	インド・デリー公害防止	環境リスク評価事業における濃度	
		委員会	予測モデルの適用 - 千葉県の	
	1名	サウジアラビア・ジュベ	事例 -	
		ール・ヤンブー王立委		
		員会		
	1名	チュニジア·チュニス環		
		境技術国際センター		
	1名	ベトナム・ベトナム化学		
		会社		
11.12	28名	中国政府機関省エネル	施設見学等	総務企画情報課
		ギー研修団体		

## 3・6 国際協力のための職員派遣

平成20年度においては、国際協力のための職員派遣は行っていない。